

第14回 ちた医療・介護ネットワーク研究会

テーマ 認知症と共に生きる ～認知症共生社会と治療薬のいまを知る～

日時 2024年7月4日 木曜日 14:00-16:30

会場 ちたしん ほしざきホール

第1部:施設紹介 教えて!精神科病院 相談から在宅移行まで
みどりの風南知多病院 医療福祉相談室
精神保健福祉士 佐藤 崇

第2部:特別講演 『認知症共生社会とは』

講師:名古屋市若年性認知症自立支援ネットワーク協議委員
久田 邦博 先生

第3部:特別講演 『アルツハイマー病と地域医療

～認知症初期集中支援とレガネマブの導入～』

講師:知多厚生病院 脳神経外科
脳血管内治療部長 中塚 雅雄 先生

今回は上記の表題について学習しました。

第一部では、当院での入院相談から退院までの流れを、具体的な事例を元に紹介させていただきました。入院医療中心から地域生活中心を目指す上で、これからも皆様との連携が必要不可欠となります。相談しやすい、連携しやすい病院を目指してまいります。

第二部では、認知症共生社会についてのお話をさせていただきました。どうしても認知症の方のできないところに着目しがちですが、認知症を患ってもできることはたくさんある、周囲の方と同じように楽しく、幸せな生活を送ることができると、とっても勉強になる時間でした。そして久田先生の意欲的で前向きな姿勢に、私たちもハッピーな気持ちになり、自分らしく生きることの大切さを学びました。

第三部では、アルツハイマー病の治療薬「レカネマブ」についてご講演いただきました。令和5年12月に保険承認されたばかりの新薬ですが、軽度認知症の進行予防効果が示された注目の薬剤です。やはり医療関係の方が多く質問していらっしゃる印象です。今後、認知症治療の選択肢が増えるとのことで、期待が高まっています。



共催:ちた医療・介護ネットワーク研究会 エーザイ株式会社
みどりの風 南知多病院 医療福祉相室 松本
TEL:0569-65-1111 FAX:0569-65-1165